

生徒の声、きいてみる！（学校運営協議会・和田中）



和田中学校で行われた学校運営協議会と和田中生の代表（生徒会と学級委員）との懇談会の様子をお伝えします。

「生徒のみなさんは学校の創り手であり、主役です。当事者として一緒に考えていきましょう。」という村山先生の挨拶で会がスタートしました。学校運営協議会委員の米元さんにファシリテーターを務めていただき、会を進めました。この場で大切にしたいことや本日のゴールが示されたことで、何をやるのが明確になり、この後の懇談会が盛り上がっていました。

案としてテーマが示され、それらを糸口に各グループが話を進めました。生徒が積極的に自分の考えを表現したり、それに対して学校運営協議会の委員のみなさんが掘り下げた質問をしたりと、活発に懇談会が進んでいきました。

生徒が「活躍の場を増やしたい。」と言えば、「地域として何ができるか考えていきたい。」と思いを受け止めたり、「ドテラ（土曜寺子屋）や自習教室等について意見をちょうだい。」と生徒の生の声を地域本部の活動に生かそうとしたり、充実した話し合いが展開されました。

【懇談会の次第】

和田中学校運営協議会委員・生徒懇談会
—和田中のこと、ざっくばらんにぺちゃくちゃしよう—

- ①村山先生よりご挨拶
- ②グループ内自己紹介
- ③グループ内ぺちゃくちゃタイムテーマ案（２ラウンド）
 - ・楽しいとき、ツライとき、どんなとき？
 - ・悩んだとき、誰に相談する？
 - ・和田中、こうなったらもっといいな？
 - ・「和田高校」があったらどんな学校になってほしい？
- ④振り返り

【参加した生徒（生）や学校運営協議会委員（学）の声】

(学)率直な意見や考えが聞けてうれしかったです。

(生)考え方の違いを知ることができた。

(生)たくさんの考え、普段見えない一面が見られてよかった。

(生)普段かかわりの少ない人と話せるよい機会になった。

(生)大人と話せたのが楽しかった。

(生)またこういう機会がほしいと思った。

(学)地域の間人として何ができるか考えたい。

(学)中学生の思いを知ることができてよかった。

